

実践女子大学人間社会学部紀要 投稿要領

1. 投稿資格

投稿資格者は以下の通りとする。

- 1) 本学部の専任教員・非常勤教員、および本学部を退職した名誉教授
- 2) 本学部の学部学生および本研究科の大学院生
- 3) その他、紀要委員会が依頼した者および承認した者

2. 学部学生および大学院生の投稿

- 1) 学部学生の投稿は、本学部専任教員との連名とする。
- 2) 大学院生の投稿は、本学部専任教員との連名、もしくは指導教員の査読と承認を受けたものとする。

3. 原稿の区分

原稿は以下の5種に区分し、著者自身が定める。

- 1) 研究論文：筆者自身のオリジナルな研究成果をまとめたもの
- 2) 総説：当該学問領域の現状や今後の展望をまとめたもの
- 3) 研究ノート：研究論文に至る前段階にあるもの、および著者の意見を紹介したもの
- 4) 判例研究：判例の分析
- 5) 資料等：調査報告、統計データなど、公開すべき価値のある資料類および、調査・実験結果等を単にまとめたもの

ただし、紀要委員会が特に依頼したものまたは認めたものは、この限りでない。

4. 投稿原稿

- 1) 原稿は和文または英文とする。
- 2) 原稿の長さは、原則として表題・図表込みでおよそ400字詰め原稿用紙60枚以内とする。ただし、特に紀要委員会が必要と認めた場合はこの限りでない。
- 3) 原稿区分1)の場合、和文原稿であれば400字程度の和文要旨、英文表題、および200ワード程度の英文要旨を作成する。英文原稿であれば、200ワード程度の英文要旨を作成する。
- 4) 原稿は、A4版縦置き横書きとする。
- 5) 投稿原稿は、印刷物として未公開のものに限る。
- 6) 二重投稿は認めない。
- 7) 和文・英文原稿とも、原稿の電子ファイルおよび印刷原稿1部を紀要委員会に提出する。原則として、これらは返却しない。

5. 図表、引用文献

- 1) 図表には図1、表2など適当な通し番号を付け、できる限り本文に埋め込む。
- 2) 本文に埋め込むことができない場合には、本文とは別に用紙一枚につき一つの図表を記入または貼付し、本文中に挿入箇所を明記する。
- 3) 原図は、そのまま製版可能なもの、または電子データが望ましい。
- 4) カラー原稿による投稿の場合、これに関わる費用は著者負担とする。
- 5) 引用文献の表記方法は、当該学問領域の慣例に従う。

6. 校正

著者は、紀要委員会の要請に応じて、校正を行うものとする。校正時における文章の大幅な改変、図・表の差し替えは、原則として認めない。

7. 本紀要の公開方法

- 1) 本紀要に掲載された論文は、紀要委員会が適当と認めた学内・学外機関による電子化および当該機関によるコンピュータ・ネットワークに公開される。

8. 著作権

- 1) 本紀要に掲載された論文の著作権は著者自身が保持する。
- 2) 論文において他者が知的財産権を保有し、かつ了解を得る必要のあるものを使用する場合は、著者自身が知的財産権を保有する者の了解を得なければならない。

9. 本要領について

- (ア) 本要領の改定は、人間社会学部教授会にはかり、その了承を得るものとする。
- (イ) 本要領の解釈にあたって疑義が生じた場合は、紀要委員会においてこれを定める。
- (ウ) 本要領は平成16年7月8日より施行する（平成29年2月6日改定により投稿規定から投稿要領に名称変更）。

改定履歴

平成16年 7 月 8 日	施行
平成16年 1 月12日	改定
平成20年 5 月 8 日	改定
平成22年 7 月 8 日	改定
平成29年 2 月 6 日	改定
2024 年 6 月 13 日	改定